

**【表紙】**

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	平成25年8月9日
【四半期会計期間】	第36期第1四半期(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)
【会社名】	株式会社ハークスレイ
【英訳名】	HURXLEY CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役会長兼社長 青木 達也
【本店の所在の場所】	大阪市北区鶴野町3番10号
【電話番号】	06(6376)8088(代表)
【事務連絡者氏名】	常務取締役 大槻 哲也
【最寄りの連絡場所】	大阪市北区鶴野町3番10号
【電話番号】	06(6376)8088(代表)
【事務連絡者氏名】	常務取締役 大槻 哲也
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第35期 第1四半期連結 累計期間	第36期 第1四半期連結 累計期間	第35期
会計期間	自平成24年4月1日 至平成24年6月30日	自平成25年4月1日 至平成25年6月30日	自平成24年4月1日 至平成25年3月31日
売上高 (千円)	13,778,023	13,127,288	53,944,653
経常利益 (千円)	328,667	329,603	1,203,504
四半期(当期)純利益 (千円)	223,710	313,763	700,820
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	229,098	323,807	802,439
純資産額 (千円)	15,659,325	16,236,698	16,012,810
総資産額 (千円)	41,728,477	39,344,143	39,615,370
1株当たり四半期(当期)純利益金額(円)	22.40	31.42	70.18
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	37.1	41.0	40.2

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

4. 当第1四半期連結累計期間において、株式会社アサヒ物流を吸収合併存続会社とし、株式会社ハーツフードサービスを吸収合併消滅会社とする合併により、連結の範囲から株式会社ハーツフードサービスを除外しております。

## 2【事業の内容】

当社グループ（当社及び当社の関係会社）は、持ち帰り弁当事業、店舗委託事業、店舗管理事業、店舗直営事業、その他の5つのセグメント情報の区分にわたって事業活動を展開しております。

当第1四半期連結累計期間における、各区分に係る主要な関係会社の異動は、次のとおりであります。なお、各区分にかかる事業内容に変更はありません。

（持ち帰り弁当事業）

主要な関係会社に異動はありません。

（店舗委託事業）

主要な関係会社に異動はありません。

（店舗管理事業）

主要な関係会社に異動はありません。

（店舗直営事業）

主要な関係会社に異動はありません。

（その他）

当社の連結子会社でありましたレストラン事業を主とする株式会社ハーツフードサービスは、同じく当社の連結子会社である株式会社アサヒ物流を吸収合併存続会社とする合併により、吸収合併消滅会社となりました。また、株式会社ハーツフードサービスの権利義務は、(株)アサヒ物流に継承されております。

これに伴ない、平成25年6月30日現在において、当社グループは、当社のほか子会社7社、関連会社2社で構成されております。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

#### （1）業績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新政権下での経済政策や金融政策への期待感から、円安の進行と株価回復の動きもあり、景況感は徐々に穏やかな改善の兆しが見られるものの、家計の可処分所得の上昇、消費動向の向上といった顕著な改善に至っておらず、実体経済の回復には未だ不透明な状況が続いております。

このような環境の中、持ち帰り弁当事業では、食に対する安心、安全への「こだわり」をビジネスの中心に据え、多様化する消費者のニーズに対し、メニュー開発、接客マナーの向上に努めるとともに、店舗のブラッシュアップとスクラップアンドビルドを進めてまいりました。店舗委託事業においては、新規業務委託先の獲得による事業の拡大、未稼働店舗の圧縮、また関西圏での認知度の向上、市場拡大に努めてまいりました。

また、グループ経営においては、平成25年4月1日付にて連結子会社2社間にて、合併を行っております。

このような中、当第1四半期連結累計期間の売上高131億27百万円（前年同期比4.7%減）、営業利益98百万円（前年同期比39.5%減）、経常利益3億29百万円（前年同期比0.3%増）、四半期純利益3億13百万円（前年同期比40.3%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### 持ち帰り弁当事業

地域の人たちの豊かな食生活に貢献する「わたしの街の台所」として、手作りによる家庭の温もり、まごころ、安心感をお届けする信頼の食を追求いたしております。また、多様化するニーズにお応えすべく、新商品の販売、現行メニューや季節メニューのリニューアル、要望を多数いただいた商品の再販売を行ってまいりました。

持ち帰り弁当事業の売上高は59億25百万円（前年同期比4.1%減）、営業利益は3億6百万円（前年同期比21.3%減）となりました。

#### 店舗委託事業

外食業界における消費者の選別志向・生活防衛意識が相変わらず根強く、お客様の低価格志向の定着や異業種を含めた企業間競争など厳しい経営環境が続いております。そのような中、未稼働店舗の家賃負担の低減や優良委託店舗の発掘等により利益率向上に努めてまいりました。

店舗委託事業の売上高は58億96百万円（前年同期比3.0%減）、営業利益は55百万円（前年同期比344.6%増）となりました。

#### 店舗管理事業

店舗管理事業におきましては、商業施設間の競合、地域間の競争が激しく依然として不透明な環境が続いております。そのような中、保有物件の管理料削減等、事業の効率化を進めてまいりました。

店舗管理事業の売上高は1億47百万円（前年同期比1.8%減）、営業利益は86百万円（前年同期比2.2%増）となりました。

#### 店舗直営事業

店舗直営事業においては、引き続き衛生と鮮度に重きを置き、熟練の技による選りすぐりの素材を提供しております。前期より進めてまいりました不採算店舗の閉鎖により売上高は減少しておりますが、各種イベントにより既存店のお客単価は上昇いたしております。

店舗直営事業の売上高は5億41百万円（前年同期比9.8%減）、営業利益は32百万円（前年同期比198.6%増）となりました。

#### その他の事業

フレッシュ・ベーカリー事業においては、生産効率の向上と既存商品の改良に注力いたしました。人気の蒸しパンシリーズに抹茶を追加、また夏向け商品として、クリームのだれないシェラトンプルーベリーや牛すじ入りの揚げていない焼きカレーパンを発売し、好評をいただいております。

物流関連事業につきましては、既存インフラの強化とともに、グループ外向け事業の拡大を推進しております。

その他事業の売上高は、6億16百万円（前年同期比19.8%減）、営業損失は21百万円（前年同期は営業利益39百

万円)となりました。

(2) 財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ2億71百万円減少し、393億44百万円となりました。主な要因として、建物等の有形固定資産の減少1億49百万円、長期未収入金の減少1億30百万円によるものです。負債は、前連結会計年度末に比べ4億95百万円減少し、231億7百万円となりました。主な要因として、長期借入金金の減少2億59百万円、一年以内返済予定長期借入金金の減少1億83百万円によるものです。

少数株主持分を含めた純資産は、前連結会計年度末に比べ2億23百万円増加し、162億36百万円となりました。自己資本比率は前連結会計年度末の40.2%から0.8ポイント上昇し、41.0%となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	33,000,000
計	33,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年6月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年8月9日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	11,025,032	11,025,032	(株)東京証券取引所 市場第一部	単元株式数 100株
計	11,025,032	11,025,032	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年4月1日 ~ 平成25年6月30日	-	11,025,032	-	4,036,649	-	3,906,288

##### (6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成25年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成25年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 1,033,100 (相互保有株式) 普通株式 23,400	-	単元株式数100株
完全議決権株式(その他)	普通株式 9,943,600	99,436	同上
単元未満株式	普通株式 24,932	-	1単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	11,025,032	-	-
総株主の議決権	-	99,436	-

(注) 「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が1,200株(議決権の数12個)含まれております。また、単元未満株式の欄には、自己株式3株が含まれております。

【自己株式等】

平成25年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
(自己保有株式) 株)ハークスレイ	大阪市北区 鶴野町3番10号	1,033,100	-	1,033,100	9.37
(相互保有株式) 株)ほっかほっかフーズ	高知県高知市 旭駅前43-4	23,400	-	23,400	0.21
計	-	1,056,500	-	1,056,500	9.58

2【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。



1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,438,736	5,380,508
受取手形及び売掛金	2,284,643	2,225,589
商品及び製品	602,658	669,704
原材料及び貯蔵品	131,185	120,335
繰延税金資産	120,227	217,777
その他	1,441,159	1,375,289
貸倒引当金	109,401	108,866
流動資産合計	9,909,208	9,880,338
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,698,534	7,536,971
機械装置及び運搬具(純額)	75,127	70,356
工具、器具及び備品(純額)	471,373	452,897
土地	12,194,216	12,194,216
リース資産(純額)	113,579	152,723
建設仮勘定	5,000	750
有形固定資産合計	20,557,832	20,407,915
無形固定資産		
のれん	227,204	213,450
その他	148,177	192,725
無形固定資産合計	375,381	406,176
投資その他の資産		
投資有価証券	1,614,809	1,623,709
長期貸付金	386,045	378,103
敷金及び保証金	5,790,682	5,750,622
繰延税金資産	115,454	119,941
長期未収入金	1,813,343	1,682,794
その他	821,153	761,711
貸倒引当金	1,768,540	1,667,168
投資その他の資産合計	8,772,947	8,649,713
固定資産合計	29,706,161	29,463,805
資産合計	39,615,370	39,344,143

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
買掛金	2,529,433	2,487,716
短期借入金	814,000	805,000
1年内返済予定の長期借入金	4,173,140	3,989,290
未払金	1,057,178	1,104,141
未払法人税等	128,662	97,719
未払消費税等	89,782	102,090
賞与引当金	165,868	259,707
預り金	1,517,789	1,546,483
その他	1,689,433	1,638,378
流動負債合計	12,165,287	12,030,528
<b>固定負債</b>		
社債	92,500	75,000
長期借入金	6,347,250	6,087,740
退職給付引当金	42,498	45,327
負ののれん	561,540	477,712
長期預り保証金	3,367,882	3,354,306
繰延税金負債	367,758	366,520
資産除去債務	316,283	311,300
その他	341,559	359,009
固定負債合計	11,437,272	11,076,916
負債合計	23,602,559	23,107,445
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	4,036,649	4,036,649
資本剰余金	3,930,816	3,930,816
利益剰余金	9,403,868	9,617,712
自己株式	1,515,077	1,515,077
株主資本合計	15,856,257	16,070,101
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金	51,062	54,691
その他の包括利益累計額合計	51,062	54,691
少数株主持分	105,490	111,905
純資産合計	16,012,810	16,236,698
負債純資産合計	39,615,370	39,344,143

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	13,778,023	13,127,288
売上原価	10,555,675	10,043,181
売上総利益	3,222,348	3,084,107
販売費及び一般管理費	3,059,217	2,985,407
営業利益	163,131	98,699
営業外収益		
受取利息	4,144	3,438
受取配当金	3,124	3,525
受取賃貸料	55,383	61,390
負ののれん償却額	83,827	83,827
業務委託解約益	52,738	55,730
持分法による投資利益	1,886	7,899
その他	62,321	94,197
営業外収益合計	263,425	310,009
営業外費用		
支払利息	45,284	27,664
賃貸費用	15,270	14,632
業務委託解約損	7,383	7,401
その他	29,951	29,407
営業外費用合計	97,889	79,105
経常利益	328,667	329,603
特別利益		
固定資産売却益	33,073	20,888
受取和解金	7,060	-
その他	1,800	1,660
特別利益合計	41,933	22,548
特別損失		
固定資産除却損	18,719	22,556
固定資産売却損	828	308
減損損失	-	10,925
その他	8,726	2,221
特別損失合計	28,274	36,011
税金等調整前四半期純利益	342,326	316,140
法人税、住民税及び事業税	123,075	96,627
法人税等調整額	18,127	100,664
法人税等合計	104,947	4,037
少数株主損益調整前四半期純利益	237,379	320,177
少数株主利益	13,668	6,414
四半期純利益	223,710	313,763

【四半期連結包括利益計算書】  
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	237,379	320,177
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,707	2,520
持分法適用会社に対する持分相当額	2,573	6,149
その他の包括利益合計	8,281	3,629
四半期包括利益	229,098	323,807
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	215,429	317,392
少数株主に係る四半期包括利益	13,668	6,414

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

連結の範囲の重要な変更

当第1四半期連結累計期間において、株式会社アサヒ物流を吸収合併存続会社とし、株式会社ハーツフードサービスを吸収合併消滅会社とする合併により、連結の範囲から株式会社ハーツフードサービスを除外しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及び負ののれんの償却額(のれんの償却額を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
減価償却費	369,841千円	330,816千円
負ののれんの償却額	71,764千円	72,307千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

配当金支払額

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月25日 定時株主総会	普通株式	99,919	10.00	平成25年3月31日	平成25年6月26日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				
	持ち帰り 弁当事業	店舗委託事業	店舗管理事業	店舗直営事業	計
売上高					
外部顧客への売上高	6,178,209	6,080,543	149,863	600,637	13,009,253
セグメント間の内部売上高又は振替高	79,607	7,140	-	12,000	98,747
計	6,257,816	6,087,684	149,863	612,637	13,108,001
セグメント利益	388,814	12,386	85,033	10,970	497,205

	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益計算書 計上額(注)3
売上高				
外部顧客への売上高	768,770	13,778,023	-	13,778,023
セグメント間の内部売上高又は振替高	917,139	1,015,887	1,015,887	-
計	1,685,909	14,793,910	1,015,887	13,778,023
セグメント利益	39,402	536,608	373,476	163,131

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに帰属しない事業セグメントであり、物流事業、フレッシュ・ベーカリー事業、店舗総合サービス事業、レストラン事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額 373,476千円には、セグメント間取引消去6,184千円、各報告セグメントには配分していない全社費用 379,661千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない親会社である当社管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				
	持ち帰り 弁当事業	店舗委託事業	店舗管理事業	店舗直営事業	計
売上高					
外部顧客への売上高	5,925,063	5,896,685	147,105	541,743	12,510,597
セグメント間の内部売上高又は振替高	63,795	8,178	-	4,000	75,973
計	5,988,858	5,904,864	147,105	545,743	12,586,571
セグメント利益又は損失( )	306,186	55,076	86,909	32,761	480,934

	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益計算書 計上額(注)3
売上高				
外部顧客への売上高	616,690	13,127,288	-	13,127,288
セグメント間の内部売上高又は振替高	736,861	812,835	812,835	-
計	1,353,551	13,940,123	812,835	13,127,288
セグメント利益又は損失( )	21,625	459,309	360,609	98,699

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに帰属しない事業セグメントであり、物流事業、フレッシュ・ベーカリー事業、店舗総合サービス事業、レストラン事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額 360,609千円には、セグメント間取引消去6,073千円、各報告セグメントには配分していない全社費用 366,682千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない親会社である当社管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	22円40銭	31円42銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	223,710	313,763
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	223,710	313,763
普通株式の期中平均株式数(株)	9,985,425	9,985,395

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載を省略しております。

2【その他】

該当事項はありません。



## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年8月9日

株式会社ハークスレイ  
取締役会 御中

### 新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	西原 健二	印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	押谷 崇雄	印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ハークスレイの平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ハークスレイ及び連結子会社の平成25年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれておりません。